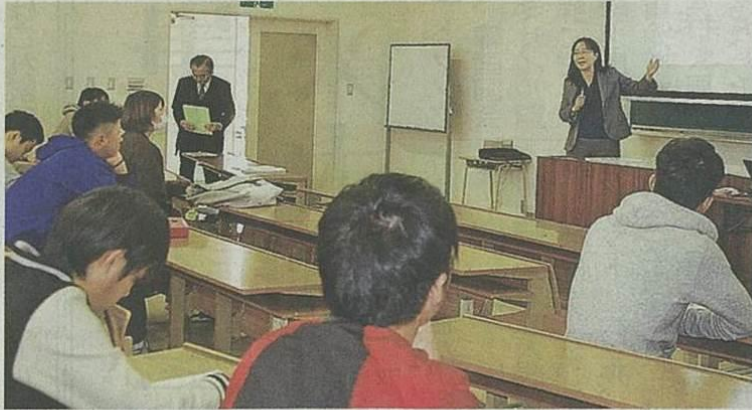


人口減社会 生き抜くには

八学大 野村証券和田氏が講演



学生に人口減少時代の成長戦略を訴えた和田理都子主任研究員の講演＝8日、八戸市美保野の八戸学院大

八戸学院大で8日、野村証券金融公共公益法人部の和田理都子主任研究員が「人口3分の2激減時代の到来と『新』成長戦略」と題して講演した。ビジネス

学科の学生らが聴講し、消費動向や働き方などが大きく変化する時代を生き抜くための提言に耳を傾けた。和田氏は、日本の全市区町村の経済基盤力や産出

力、家族力など5指標を「都市力」として数値化し、分析している。講演では「内需の全てが変化し、親世代の成功例が通用しない時代になっている。経済は『規模』から『密度』に重要性がシフトする」と指摘。

八戸市の持続可能性については「製造業の力がある強みを生かし、農業の強い周辺市町村を経済圏に取り込めば、食料生産基地が形成できる。世界人口の増加を見据えれば、産業創出の機会となるかもしれない」との見解を示した。

同科3年の風間大貴さん(20)は「数値化すると都市の特徴が比べやすい。八戸もやり方次第で生き残れると分かり、地元を少し見直した」と感心していた。

(田村祐子)